

## 円高・デフレを克服する経済対策を求める意見書

欧州での経済危機や、米国の民間調査会社の国債格下げ問題などを原因に円高が歴史的な水準で進行している。日本経済は円高・デフレ傾向が長期化し、東日本大震災による経済情勢の悪化も懸念されている。

しかしながら政府は2度にわたる補正予算を編成しながら、本格的な復旧・復興につながる大規模な予算編成とは言えず、景気回復に向けた好材料とはならないものだった。さらに電力需給の逼迫が長期化し、円高傾向も続くことになれば、企業が海外に生産拠点を移すことは明白であり、雇用・産業空洞化が進行することとなるが、これまで政府は具体策を示すことなく、産業界に任せっきりと言わざるを得ない。

また、歴史的な水準の円高は地域の製造業、観光業に大きな打撃を与えており、この状態を放置すると地域経済は悪化の一途をたどることとなる。

よって狛江市議会は政府等に対し、今こそ「被災地の復興が日本経済全体の復興につながる」との考え方のもと、抜本的な円高・デフレ対策に取り組むとともに、下記事項について早急の実現を図るよう強く求めるものである。

### 記

- 1 日本経済全体を底上げするための景気対策、防災対策のための必要な公共事業の推進などを含めた施策を至急検討・推進すること。
- 2 年末に向けた中小企業の万全な資金繰り対策の拡充など、円高の痛みを直接受ける輸出産業への痛みを緩和する施策を打ち出すこと。
- 3 円高・デフレの影響を受けている事業者への支援策を打ち出すこと。
- 4 地域の雇用維持・確保に活用できる臨時交付金の創設をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年9月27日

東京都狛江市議会

平成23年9月27日 原案可決

提出先	内閣総理大臣	総務大臣	財務大臣	経済産業大臣
	内閣官房長官	国家戦略担当大臣	衆議院議長	参議院議長